

健康づくり・疾病予防の 先進・優良事例のご紹介

- ・健康課題の「見える化」
- ・関係者間の連携による取組

内閣府

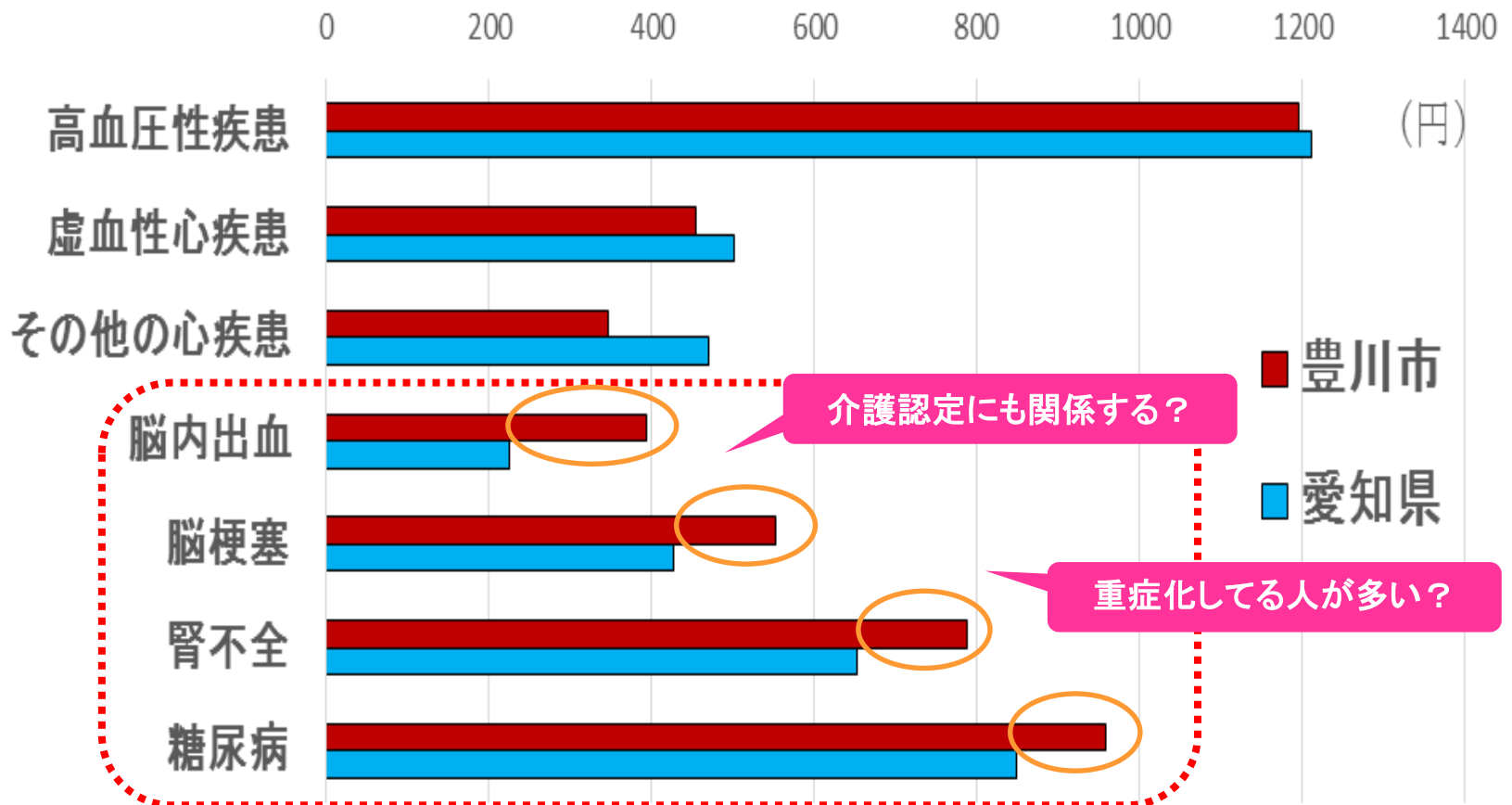
事例① 愛知県豊川市

「健康課題の『見える化』」

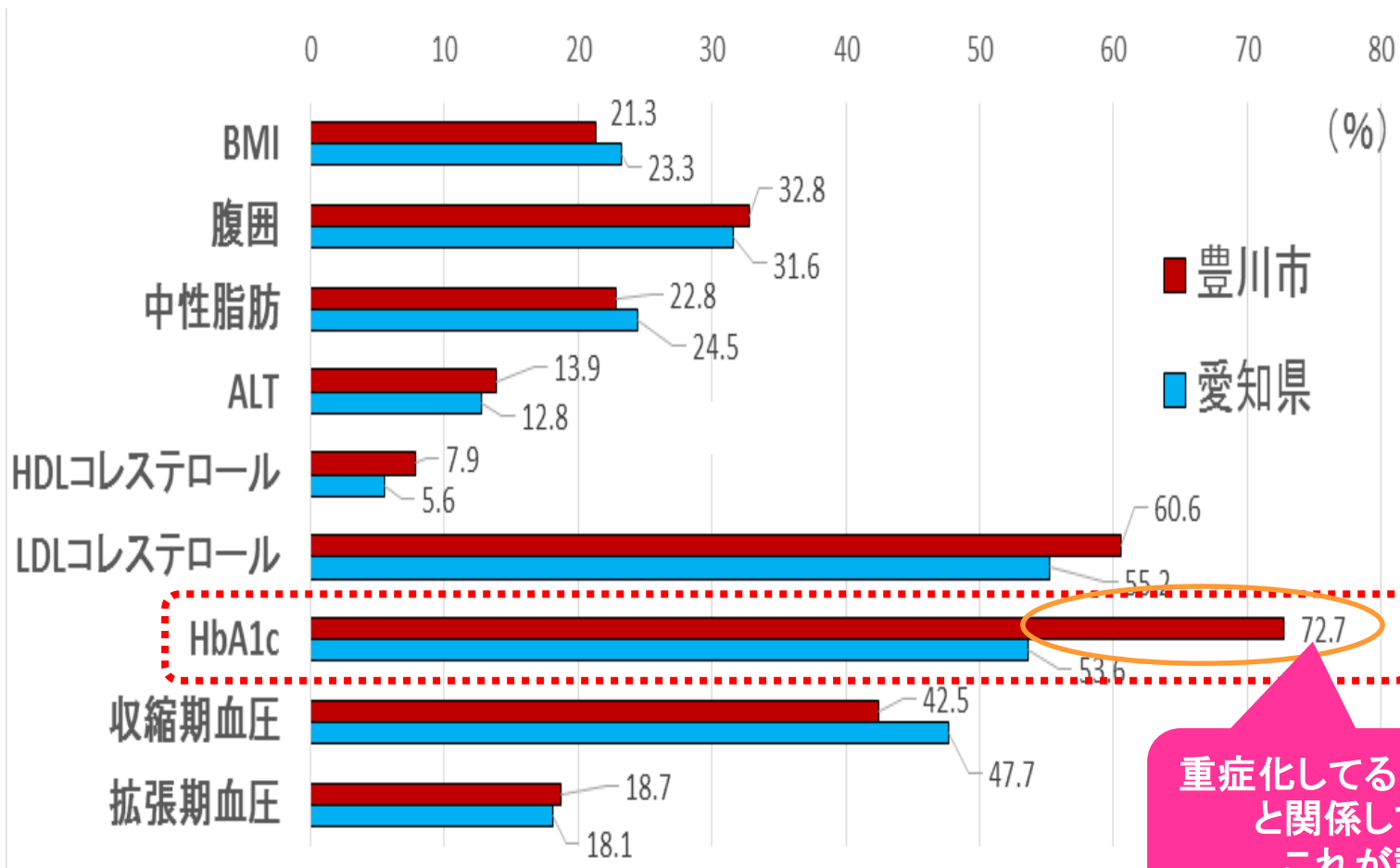
～ ポスターを活用した地域社会への普及・浸透活動 ～

健康課題の見える化

疾病別1人当たり費用額



特定健診有所見率



重症化してる人が多いこと
と関係している？
これが課題？

媒体;ポスター

嬉しくない情報を
どうやって市民に知らせるか？

誰もが気になる
フレーズで！

糖尿病予防のテーマ
カラー青を土台に…

ここだけの話ですが…



とよかわ市民は

糖尿病予備群が多い!!

国民健康保険「特定健診」受診者データより(H26)

ヘモグロビンエーワンシー

HbA1cとは

過去1~2ヶ月の血糖値の平均を示す値です。
糖尿病と密接な関係があります。

HbA1c値

~5.5 5.6~ **要注意!!** 6.5~

基準範囲内

糖尿病予備群

受診が必要!

動脈硬化がはじまる(血管の老化)



ヘモグロビンエーワンシー

健診で自分のHbA1cを知ろう!

第2次

とよかわ健康づくり計画

豊川市糖尿病対策プロジェクト

お問合せ 豊川市保健センター (0533)89-0610

公共施設・医療機関・ 店舗などに掲示依頼

美容院



衣料品店



介護支援
事業所



クリーニング店



ここにも、
あそこにも
ポスターが！

人・社会が動いた

▶ 専門職(保健師・栄養士・歯科衛生士)が

データを元にした媒体によって、自信を持って、市民に健康課題を伝えることができた

市民が動いた！！

● **健康教育**にて
市民「どうして豊川は血糖値が高い人が多いんだ？」

▶ 家庭で

夫「このチラシを見て。豊川市は糖尿病が多いんだって。君は知ってたかい？」

妻「サロンで前に聞きましたよ」

▶ ポスターを掲示してくれている**美容室**にて

客「豊川市って糖尿病の人が多いの？」

店「そうらしいよ。保健師さんが健診受けるようになって」



他団体も動いた！

▶ 他課が動き出した

- ・市の広報担当が特集を組んでくれた
- ・スポーツ課がキャッチフレーズ投票に参加

▶ 歯科医師会が動いた

- ・糖尿病に関する情報を保健センターに届けてくれるようになった
- ・会議で糖尿病の話題が出るようになった

▶ 薬剤師会が動いた

- ・糖尿病予防講演会でHbA1c測定イベントの紹介
- ・豊川市版「糖尿病予防チェック表」作成し、各薬局で健康相談開始予定

市外も動いた！

- ・大学から共同研究のオファーが！
- ・実習に来ていた学生が大学で健幸新聞を使って報告したところ、「なぜ、豊川市はこんなにもHbA1cが高い人が多いのか？疫学調査したい」と申し入れあり
- ・平成28年度共同研究することに！！

ピンチをチャンスに★



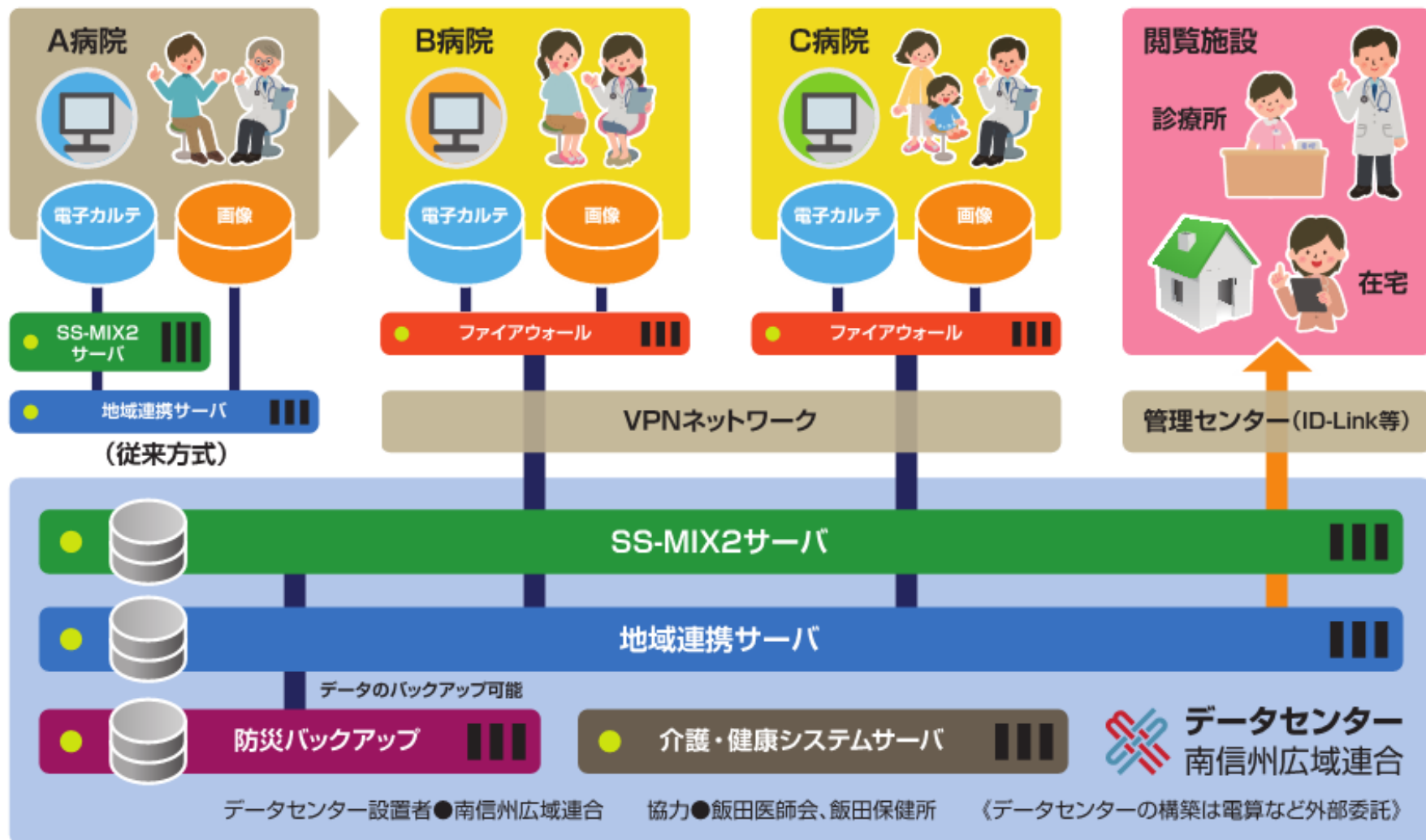
事例② 長野県飯田市(南信州広域連合)

関係者間の連携による医療・介護提供体制の構築

～「病病・病診連携」「地域包括ケアシステム」を見据えた
診療情報の共有～

統合型医療・介護情報共有システムの構成図

従来、個人情報保護の観点から各病院に地域連携サーバを設置していましたが、国の方向性もふまえ、データセンターに設置したSS-MIX2サーバと地域連携サーバに各病院の診療情報を統合します。



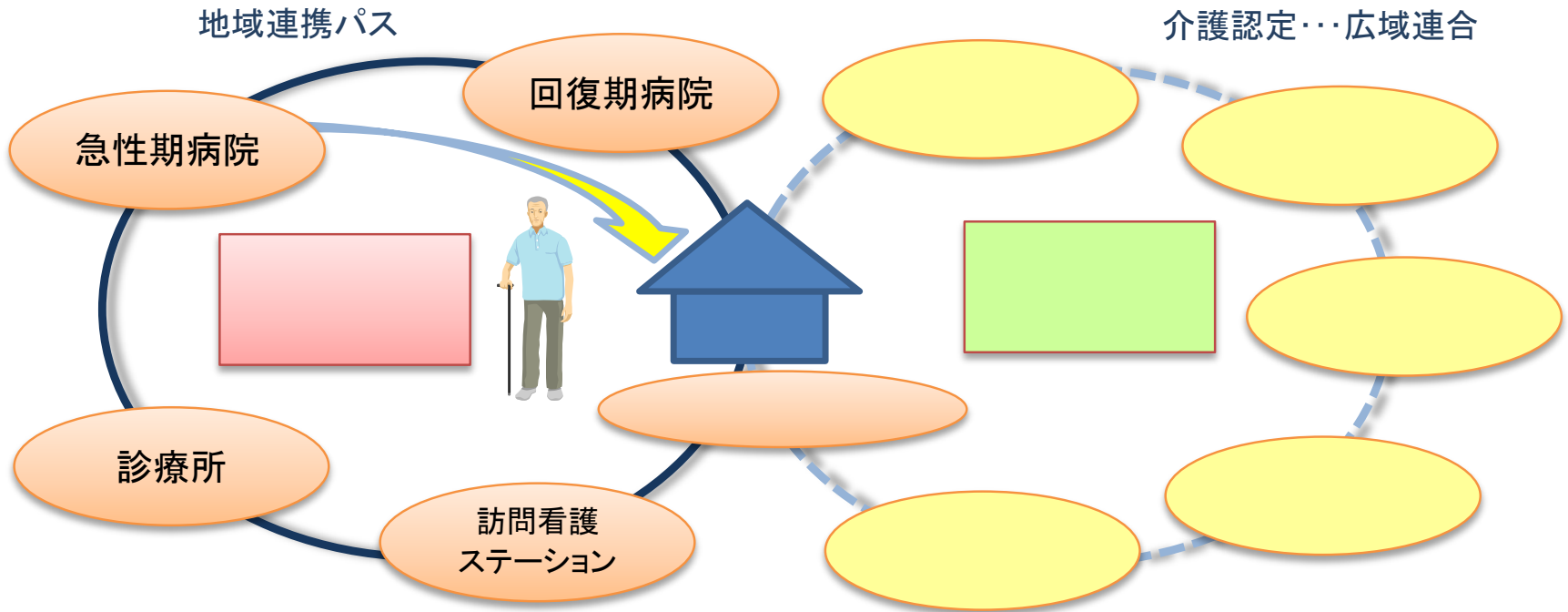
ID-Link + ipadで在宅医療を支える 自宅での看取りも可能に

全ての訪問看護ステーションへipadを導入予定



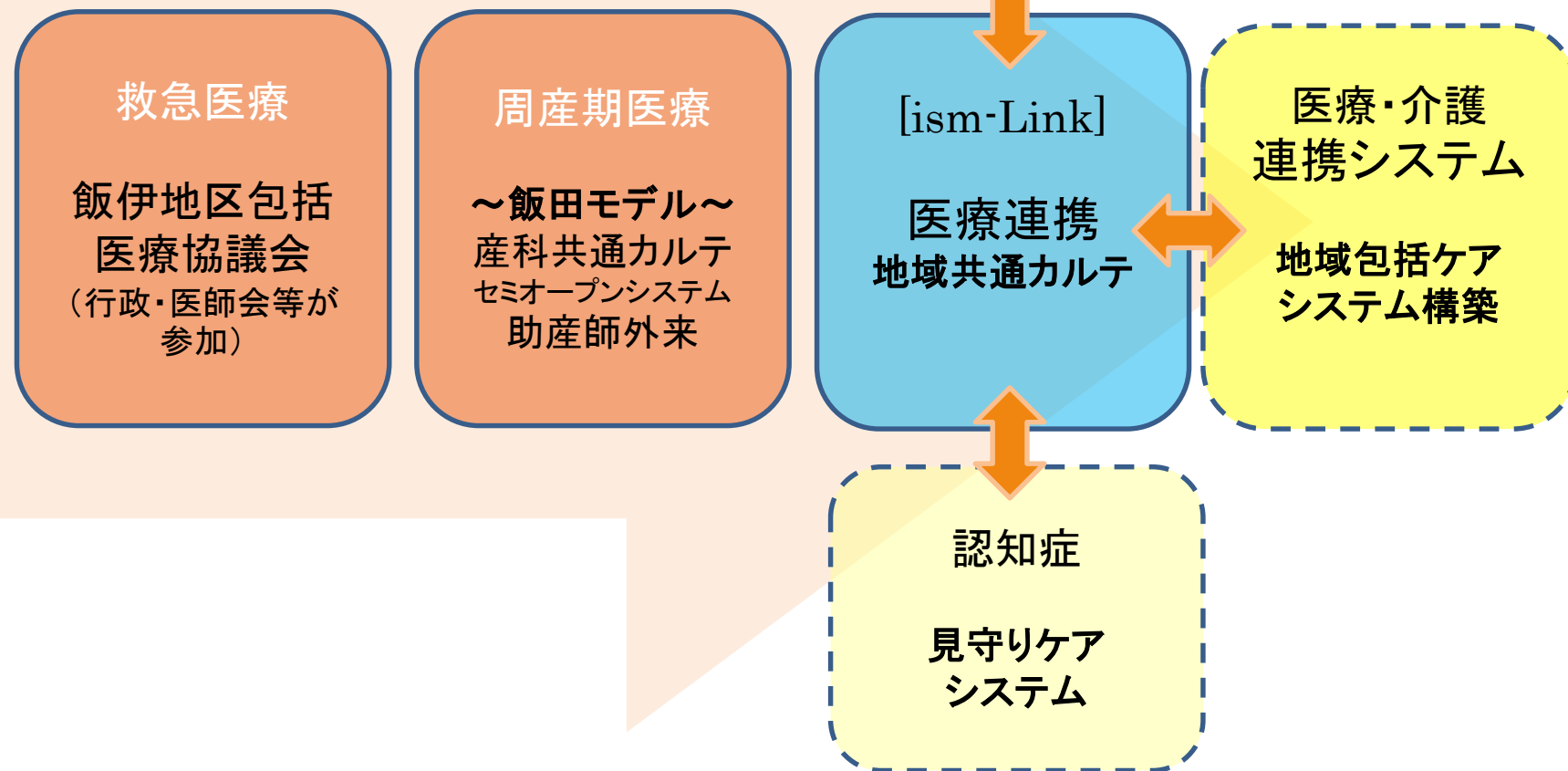
テストの結果、在宅医療の
情報共有化に非常に有効

「病病・病診連携」「地域包括ケアシステム」 を支える社会インフラの将来像



飯田下伊那全域で、医療・介護関係者の情報共有基盤を構築したい。

飯田下伊那の 将来ビジョン

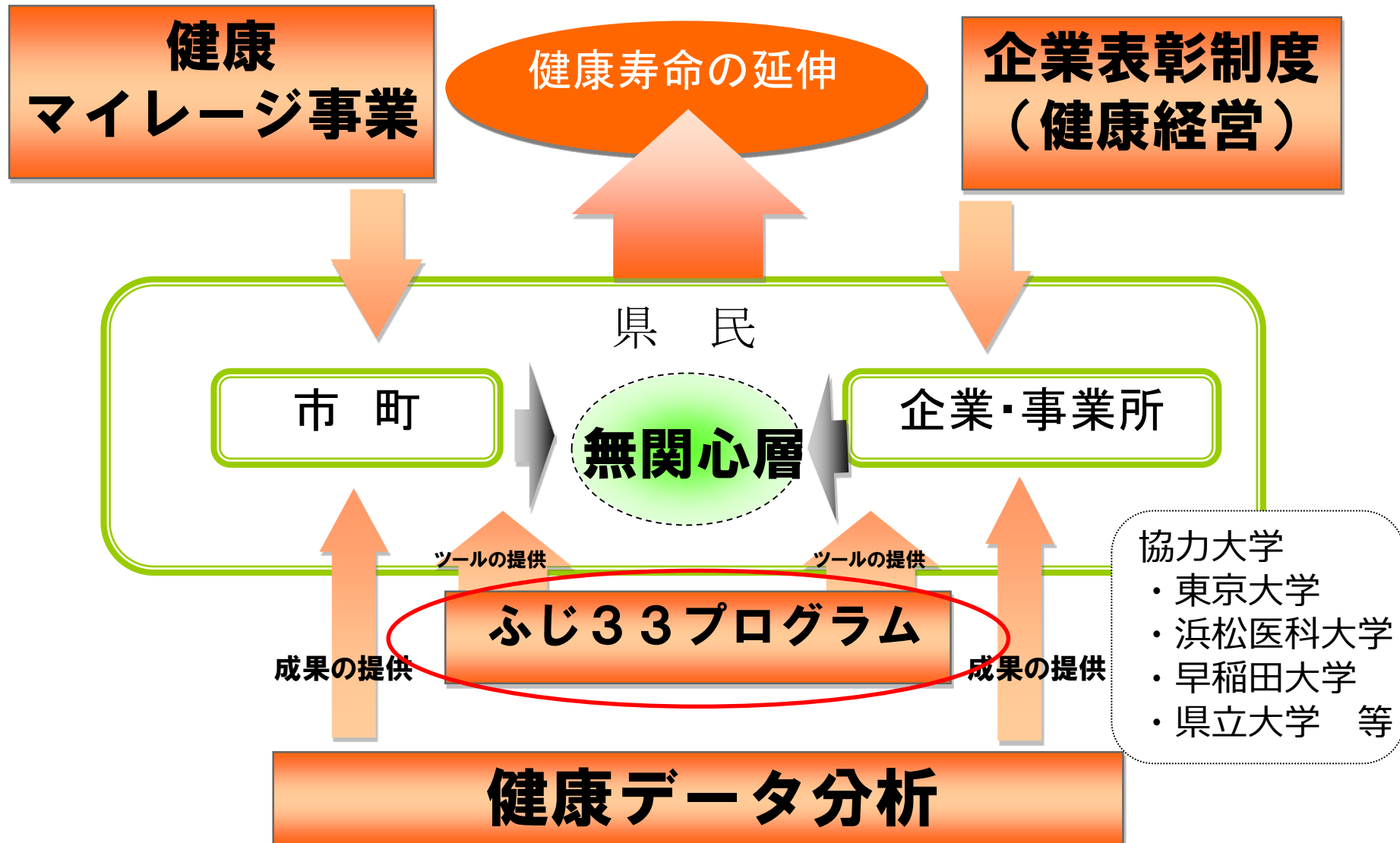


事例③ 静岡県

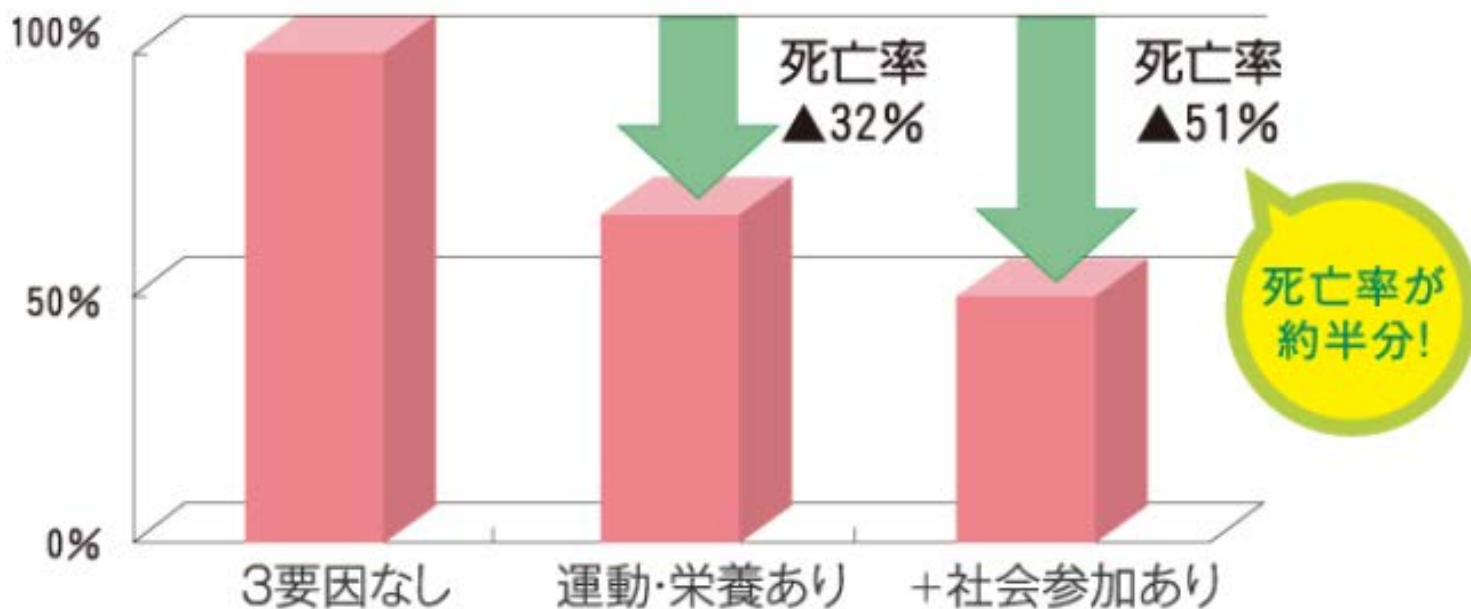
健康長寿プロジェクト

～ ふじ33プログラムを中心に～

健康長寿プロジェクトをH24から開始



運動・栄養・社会参加の有無と死亡率



※性別、年齢、体格指数、喫煙状況で調整したハザード比
静岡県高齢者コホート調査研究



社会参加とは？

事例④ 熊本県熊本市

関係者間の連携による健康づくり

～ CKD(慢性腎臓病)予防に向けた取組～

CKD対策の背景

・本市の人工透析導入者数は人口比で**全国平均の1.47倍**と最も高い水準にあり、新規透析導入者は**年間295人**に上っていた。

・CKDが死因の上位を占める**心血管疾患の重大な危険因子**であることが判明

・**予防、治療が可能**になった

・自覚症状がなく、**潜在患者が数多く**いることが予測された
(約7万5千人のCKD患者)

